

会員資質向上委員会 担当副理事長方針

可児将太郎

青年会議所はまちづくり団体であると同時に、ひとづくり団体でもあり、青年会議所での学びは自身の成長だけでなく、自社でも活用できる能力やネットワークを得ることができると考えます。しかし近年、個々のスキルの向上やコミュニケーションの機会が減少しており、団体としての魅力が薄れているように感じます。これからも青年会議所がメンバーにとって価値ある団体であり続けるためにも、一人ひとりが直接的に成長を実感できる機会を増やしていくことが必要であると考えます。

現在、時代の変化と共に社会や経済構造も転換期を迎えています。そして、この変化のスピードは今後より一層早くなり、それに伴い、リーダーとしての資質がより求められると考えます。この先行きが不透明な時代の中であっても、我々は先の未来を想像し、リーダーとして決断をしていかないとはいけません。そのためにも、「青年会議所のネットワーク」や「企業や他団体とのネットワーク」を活用し、自身の固定概念に囚われない多角的視点を養う必要があると考えます。そうすることで、感情や主観に流されず物事のより正しい判断に繋がり、変化に強いリーダーとなると考えます。一人ひとりがリーダーとしての確かな自己成長を遂げていくことが、自社やこのまちの成長発展に繋がり、ひいては青年会議所が価値ある団体として輝き続けると信じます。

私は先輩諸兄から時には厳しく、また困っているときには、多くの助言や励ましの言葉をいただいたことで、今日の自分があると考えます。私は副理事長として、青年会議所活動に囚われることなく、様々な経験の機会を提供し、自己の成長に繋げていただけるよう努めてまいります。

<会員資質向上委員会>

メンバーが経営的視野を広げられ、また、会員や他団体等との交流の機会を増やすことで、直接的に自己成長が感じられる事業展開をしていただきたい。